

内分泌・代謝内科 研修で経験が望ましい項目（minimum requirement）

	基本的手技	日付	回数
A	指導医とともに血糖自己測定、自己注射の指導を行う		
A	指導医とともに低血糖時の対処法の指導を行う		
A	指導医とともに各種内分泌負荷試験を行う		
A	指導医とともに甲状腺エコーを行う		
C	甲状腺細胞診を見学し、介助する		
	基本的疾患の診察		
A	糖代謝異常の患者を担当する		
A	内分泌疾患の患者を担当する （視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患など）		
B	その他の代謝異常の患者を担当する（脂質、電解質など）		
	具体的な診察		
A	（入院）入院時の病歴をとる		
A	身体診察を行い、所見を記載する		
A	必要な血液検査をオーダーする		
A	必要な生理検査をオーダーする		
A	必要な画像検査をオーダーする		
A	検討会でプレゼンテーションする		
A	回診でプレゼンテーションする		
A	多職種カンファレンスに参加する		
A	退院時の説明を指導医とともに行う		
B	（外来）外来患者の病歴をとる		

- A 4週で経験することが望ましい
 B 8週で経験することが望ましい
 C 12週で経験することが望ましい